

建築工事施工計画報告書

建築基準法第12条第5項の規定に基づき、下記のとおり建築工事施工計画を報告します。
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

殿

代表となる工事監理者 住所 電話 ()
会社名 ()級建築士事務所()登録第()号
氏名 ()級 建築 士()登録第()号

工事施工者 住所 電話 ()
会社名 建設業の許可 大臣・知事 第()号
氏名

(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
品質窓口責任者氏名 電話 ()

記

(1) 工事現場	名称		工区棟	工事の種類	新築・増築・改築
	所在地				
(2) 構造設計者	氏名		所属会社		電話 ()
(3) 現場代理人(所長)	氏名		現場事務所		電話 ()
(4) 階数	地上 階・地下 階 塔屋 階	(5) 建築面積	m ²	(6) 延べ面積	m ²
(7) 構造	木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造(造+ 造)・その他()				
(8) 高さ	軒高 m 最高 m	(9) 確認済証交付機関			
(10) 確認・計画通知、年月日及び番号	年 月 日		第 号		
(11) 計画変更年月日及び番号	年 月 日		第 号 第 号		
(12) 構造計算の方法	(X) ルート()、(Y) ルート()、その他()				
(13) 構造(階ごと)	RC造・WRC造	階から 階まで	(14) 使用部位	PCa・HPCa	
	SRC造	階から 階まで		PC	
	S造	階から 階まで		CFT	
		階から 階まで			
(15) 認定材料	コンクリート				※ 受付欄
	鋼材等				
	免震・制振部材				
	その他				

(注意) 1 ※印のある欄は、記入しないでください。
2 代表となる工事監理者及び工事施工者は、本報告書の記載内容と確認済証及び設計図書等が整合しているか十分確認して記入してください。

鉄筋工事及びコンクリート施工計画報告書												
コンクリート使用材料及び施工												
基礎の種類		<input type="checkbox"/> 直接基礎 { <input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> 独立基礎 } <input type="checkbox"/> くい基礎 { <input type="checkbox"/> 場所打ち鉄筋コンクリート杭 <input type="checkbox"/> 既製杭 (PHC杭、SC杭、鋼管杭、その他 ()) }										
コンクリート確認項目	施工	使用工法				基準	<input type="checkbox"/> JASS5(年版) <input type="checkbox"/> その他()					
		使用部位	杭	基礎	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階		
		設計基準強度										
		打設方法										
		使用工法						軽量()種	モルタル	グラウト		
		使用部位	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階				
		設計基準強度										
		打設方法										
試験・検査計画	品質管理責任者 氏名					工事監理者 又は係員氏名		常駐 非常駐				
	検査担当者(工事施工者) 氏名											
	検査項目	打込前	<input type="checkbox"/> 試練 <input type="checkbox"/> 散水 <input type="checkbox"/> 配筋 <input type="checkbox"/> かぶり厚さ						常・非			
		打込中	<input type="checkbox"/> テストピース採取 <input type="checkbox"/> 打込速度・順序 <input type="checkbox"/> 締固め						常・非			
		打込後	<input type="checkbox"/> 養生方法 <input type="checkbox"/> 養生温度 <input type="checkbox"/> 打込欠陥						常・非			
	エア・スランプ試験等の代行業者名					登録番号 採 号						
	供試体の養生場所・管理者											
	構造体コンクリート試験機関名					Fc36N/mm ² 以下の場合		都登録第		号		
					Fc36N/mm ² 超の場合		都登録第		号			
鉄筋使用材料及び施工												
使用鉄筋	種別	SD295		SD345		SD390		SD490		その他()		
	使用径	D	～D	D	～D	D	～D	D	～D	D ～		
施工	継手種類		圧接継手		機械式継手		溶接継手		重ね継手(その他)			
	使用箇所											
	継手工法名(溶接材料)		/									
	継手施工会社(優良圧接業者)		/									
			A級	その他	SA, A級	その他	A級	その他	/			
	技量確認・施工前試験		/									
	冷間直角カッターの使用		/									
試験・検査計画	外観検査(%)		/									
	引張試験(箇所/ロット)		/									
	超音波探傷・測定検査(箇所/ロット又は%)		/									
	引張試験併用		/									
	引張試験機関名							都登録第		号		
	非破壊検査機関名							都登録第		号		
外観検査実施者		工事監理者・工事施工者/検査機関					検査者 資格		都登録第 号			
							検査者 資格					
鉄筋コンクリート工事 重点管理項目												

コンクリート試験計画及び鉄筋試験・検査計画一覧

番号 ----- 枝番	打込箇所	打込期間 (年 月 日)	コンクリート圧縮強度 試験回数 ※1	番号 ----- 枝番	鉄筋接合 箇所 (継手種類)	継手予定 (年 月 日)	鉄筋引張 試験回数 ※3	超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)
		打込予定数量 (m ³)	うち防災センター 試験回数 ※2			継手予定数量 (箇所)	うち防災センター 試験回数 ※2	引張試験併用 (箇所/ロット)
合 計		打込予定数量 (m ³)	コンクリート圧縮強 度試験回数	合 計		継手予定数量 (箇所)	鉄筋引張試験 回数	超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)
			うち防災センター 試験回数				うち防災センター 試験回数	引張試験併用 (箇所/ロット)
供 試 体 試 験 1 回 の 試 験 の う ち (告 示 第 1102 号)	28 日 日 日	本 本 本	支柱早期除去用 部位(梁下・床下)	日 本	PS導入用	日 本		

(注意) 1 1検査ロットの試験回数は1回とし、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ150m³又はその端数ごとに1検査ロットとする。ただし、高強度コンクリートは1検査ロットの試験回数は3回とし、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ300m³又はその端数ごとに1検査ロットとする。
 2 防災センターとは、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。
 3 1組の作業班が1日に行った圧接箇所を1検査ロットとし、圧接箇所数が200箇所を超えるときは、200箇所ごと及びその端数ごとを1検査ロットとする。抜き取り本数は、ガス圧接継手の場合は1検査ロットに対して5本、溶接継手の場合は3本以上とする。